

こうさてん 第二十四号

発行 御宿新田区 広報委員会
代表 御宿新田区長 瀧本 敏幸

一年を振り返って

区長 瀧本敏幸(北四組)



令和四年度は御宿新田区の大きな変化の年だと思えます。ミライエート御宿やファミリ工分譲住宅に沢山の方が御宿新田区に転入されました。これからまだ沢山の方が新田区に入って頂けません。

では、この一年を振り返ると、新型コロナウイルス感染症状況ですが、四月から六月までは少なかったのですが、七月から十月までは多くなりました。

行事予定の結果ですが、予定通り実施したのは、春の河川・道路清掃及び夏の河川・道路清掃、カルチャー教室でした。

区の皆様や子供たちが楽しみにしていた夏祭りは残念ながら中止となりました。

その他は、新型コロナウイルスの

状況を見ながら行事の内容を考えて実施されました。子ノ神社例大祭は子供会による子供神輿(みこし)、五竜太鼓奉納、七五三祝い祈願など実施しました。また、新田区が当番区の御宿八幡宮例大祭も最小限の人数で執り行われました。

地域防災訓練は、区民皆様は組の集会所での安否確認まで参加頂き、執行役員及び組長が資機材訓練となりました。

体育関係は、富岡地区父親ソフトボール大会に参加しました。その他、裾野市婦人バレーボール大会、市民ソフトボール大会、男女混合バレーボール大会は定員不足のため不参加。新田区体育行事「散策の会」は新型コロナウイルスの影響で中止となりました。

来年度は新型コロナウイルスが収まる事をお祈りいたします。最後に、区民の皆さま・役員の皆さまの御力をいただきました。心より感謝を申し上げます。ありがとうございます。

コロナ後の子ノ神社の在り方

子ノ神社当番世話人

湯川吉美(下組)

当番世話人という大役を仰せつかり一年間、子ノ神社の維持管理運営に努めてまいりました。予定していました事業も滞りなく行う事が出来たのも、氏子の皆様方をはじめ区役員の皆様、世話人の皆様のご理解とご協力の賜物と厚くお礼申し上げます。

今年度もコロナ感染の影響が続き、様々な催事・祭儀が昨年・一昨年と同様に規模を縮小し簡素化を図って執り行なわれました。

そんな中、例大祭では三年振りに幟旗の掲揚・子供神輿の巡行・五竜太鼓の奉納を復活いたしました。また幟旗の掲揚に対してミライーく五組の組長さんも参加され新しい広がりを感じました。

一方、風祭り・風納め・元旦祭などの催事に対して氏子皆様の参加を制限した為、盛り上がりに欠け、寂しさを感じました。来年度は氏子揃って催事ができますことを願っています。

さて、コロナという大きな波が私たちの今迄での風習・習慣を変えようとしています。以前コミセンでお花づくりを行い、祭典終了後にぎやかに直会を行いました。

今は「密」となるという理由で中断されています。ある意味こうした行事はコミュニケーションをはかる絶好な場であると認識していましたが、今後は以前の状況に戻るかどうか甚だ疑問です。

子ノ神社の在り方も今後の社会の動向に合わせて、新しい標準を作っていく時期に来たのではないのでしょうか。

これからも、皆様に気持ちよく参拝していただけます様に、神社の維持管理運営に努めて参ります。変わらぬご理解とご協力を賜ります様、宜しく申し上げます。



世話人



五龍太鼓

万が一の災害に備えて

自主防災会長

的場賢吾 (西二組)

大災害は、忘れた頃に突然発生します。

県内では、熱海市の土石流災害で、多くの大切な命が失われたり、最近では静岡市で記録的な大雨で浸水災害により、五万五千世帯が断水となり、市民生活に大きな支障をきたしたニュースはまだ記憶に新しいことだと思えます。

また、近年自主防災会の講習で、富士山の噴火による溶岩流による災害が話題となり、いつ発生してもおかしくない時期に來ていると言われております。

私達自主防災会は「自分たちの地域は、自分たちで守る」と言う自覚と連帯感に基づき、事業計画に従って、毎月可搬ポンプ操作訓練や、消火栓を使用した初期消火訓練を実施して参りましたが、今年でコロナが流行して三年目を迎え、依然として収束する目途が断たない中、やむを得ず縮小しなければならぬ事業も多々ありました。

然しながら、十二月四日の総合防災訓練では、全区民の皆様に参加をいただき、安保確認訓

練を実施することができ、大変ありがとうございました。

今回初参加のミライ、一・二組、三組、四・五組の皆様にもいただきました。安否確認後は、本部設営、情報収集、救出救助、可搬ポンプ、消火栓等の訓練を区長、執行役員、各組長、中一組、中二組の皆様方のご協力に感謝致します。

またこの一年間防災活動を通じて、沢山の方々と交流させていただくことも、多くのことを学ばせていただきました。ご理解とご協力を賜りました御宿新田区民の皆様をはじめ、関係役員の皆様には深く感謝申し上げます。



仮設トイレ訓練



県下一斉防災訓練

一年間を振り返って

カルチャー担当協議委員

富田 学 (上二組)

令和四年度カルチャー担当として活動を始める事になりました。昨年に続きコロナ禍での活動になり、裾野市健康推進課と話し合いを進めていました「健康づくり講座」が、ワクチンの予防接種業務が忙しくなる事からお断りの連絡があり、カルチャー教室の開催が危ぶまれましたが、裾野市産業観光課の消費生活講座「勧誘されてもちよつとまで、高齢者をねらう悪質商法」を七月に講師を招き、無事に開催する事ができました。

参加いただきました区民の皆様にご感謝申し上げます。七月のカルチャー教室以降はコロナ感染が全国で拡大しはじめ、その前に開催できた事は少し安堵しています。来年度は、活動が活発にできることを切に願います。



7月 カルチャー教室

協議委員一年目

防犯灯担当協議委員

横山卓生 (北B組)

就任理由は組内での順番により選出されました。防犯灯の係は問題ないのですがまだ現役で就業しており建設業ということで4週6休も確保できない為、行事準備等出席できないこともあるので他の執行役員の方には迷惑をかけています。

昨年度の要望申請の案件や、ミライ1組、5組の防犯灯の設置について、区としても真剣に対応していきたいと考えております。

また、防犯灯について要望をお持ちの方は、組長を通じて担当協議委員へ情報提供を引き続きお願いいたします。

一年間ご協力いただきありがとうございました。

今年一年を振り返って

コミセン事務局

小田保之 (中二組)

区民の皆様には日頃より毎月のコミセン清掃、維持管理にご協力いただきありがとうございます。今年度も新型コロナウイルス感染症防止のため、昨年同様に規模を縮小して行事を開催してきました。そのような

中で、区執行役員として活動することになり、役員の皆様が助けられながら活動することが出来たことを感謝いたします。

コミセンの維持・管理に努めて参りましたが、建屋の老朽化はかなり進行しています。新たな区民のコミュニケーションの場所としてまた、災害発生時の防災拠点として、コミセンの建替えが待たれる中、区民の皆様には、引き続き大切に使用していただければと思います。

今年度を振り返って

ゴミ減量推進協議委員

柏木志信 (西一組)

何もわからないまま協議委員となって一年目。区長をはじめ執行役員の方々に助けられながら何とか無事に終了できそうです。

とりわけ区民の皆様には、日頃よりゴミの分別・回収等にご協力頂き、この場をお借りして感謝したいと思います。

また、コロナ禍で中止になる事が多かった市内一斉の河川清掃も今年度は春・夏共に実施する事が出来ました。春は雨に降られながらの実施、夏はコロナ感染者が増加傾向にありながらの実施となり厳しい条件の中でのご協力ありがとうございました。

資源ゴミの回収につきましては、当番の方々には早朝からの準備や持ち込まれた方々への親切かつ迅速な対応をして頂き、改めて感謝致します。

最後にゴミの出し方で不明な点がある場合、「裾野市ごみの出し方便利帳改訂版」を参照するか、美化センターへの問い合わせで対応をお願いします。今後とも引き続きご協力をお願いします。



北5組の皆様



ミライエイトの皆様

令和四年度を振り返って

街づくり・道路担当協議委員

山口 創 (北三組)

今年も各組長さんから多くの要望書が届きました。道路拡幅、道路の穴補修、段差改修、カーブミラー設置、防犯灯新設、道路の危険箇所の安全対策などです。昨年の市役所の評価がC以下の案件については継続申請ができませんので申請を見送ったものもあります。この原稿を書いている時点ではまだ回答が得られていない案件もありますが、防犯灯の新設、道路の穴補修程度しか対応されないように感じます。今年度対応されなくても評価がA、Bの案件については来年も継続要望が出せますので、来年度の協議委員にしっかりと引き継ぎしていきます。安全に関わることに

つきましては区民の皆様が安心して快適に生活でき、子供たちが安全に通学できるように市へも働きかけていかなければなりません。区民の皆様のご協力を得ながら住みよい街づくりのお手伝い出来ればと思っております。

執行役員の皆様には毎月一度の執行役員会での色々な意見を賜りまた行事に関してわからない事をご教示いただき感謝しております。

今年度もコロナ禍の影響で行事等も中止になったものがありますが、中止になった行事や実行された行事全てに担当役員や実行委員会の皆様のご計画立案実行お疲れさまでした。

今年で協議委員としての任期は終了しますが一年間ありがとうございました。

三年振りに

体育委員長

辺見 裕 (北三組)

令和四年度も昨年度と同様にコロナ禍でのスタートとなりましたが、三年振りに富岡地区父親ソフトボール大会が開催され新田区として出場しました。私自身、練習や大会当日の流れ等を経験してない為、戸惑うこともありましたが、委員の皆様をはじめ歴代の委員長の皆様のご協力により無事大会を終えることが出来ました。出場された選手の皆様は練習・試合共に、コロナ禍による閉塞感を打ち破るようなのびのびとしたプレーをしていました。今年度を機に来年度は更なる体育行事が、ウイズコロナでも多く開催されることを願います。

区民の皆様には、今年度の体育行事に深いご理解・ご協力を頂き誠にありがとうございました。

最後に、参加人数不足による出場見送りがあったのも現状です。新田区へ転入された方々もぜひ参加頂き地域の親睦を深めていただければ幸いです。



子供たちの為に

青少年健全育成委員

関るみ子 (上二組)

今年も昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症防止のため、たくさんの方の行事が中止となりました。そんな中、四年ぶりにふるさと再発見運動のコントリビューションを開催することが出来ました。クイズをしたり、おやつタイムを挟みながら富岡地区の名所を約四時間かけ巡りました。参加者の中には、四歳の小さな女の子から八十歳を超える女性の方もいらっしゃいました。幸いお天気も良かったのでゆっくりと歩き、日ごろ気にしない風の気持ち良さ、木の葉の風に揺れる音を感じながら、初めて会う方とお話しでき、貴重な体験をさせていただきました。ただ参加者が十名ほどでほとんどが大人の方でした。

新型コロナウイルスの影響、共働きの増加、少子化などで参加者の減少、行事の中止。最近では子供会がなくなっている地区もあるそうです。このようなやむを得ない問題がある中、まだまだ未熟者で自分自身も子供だと思っておりました私ですが、今の時代に合わせ次世代の子供たちが健やかに成長できるように安全を守り、大人たちから積極的に何か進めていくことが出来ないかとこの役を通じ考える機会をいただいたように思います。

ちなみに、この原稿の執筆を依頼していただき、初めてこの新田タイムス「こうさてん」の発案者は私の父だと知りました。父は去年亡くなってしまいました。少しは大人になった私(?)の原稿読んでくれているかな。

一年間ご協力いただきありがとうございます。

一年間を振り返り

子供会会長

池田 浩 (下組)

区民の皆様並びに、子供会会員の保護者様には、日頃より子供会活動につきまして、ご理解とご協力頂き、誠にありがとうございます。

本年度の子供会活動も、新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な行事が中止になりました。

八月以降の感染状況減少に伴い、三役・世話人・保護者様のご協力のもと、感染対策を行いながら、三年ぶりとなる子供神輿及びクリスマス会を開催する事が出来ました。

子ノ神社例大祭では、規模を縮小し子供神輿を開催し、元氣にお神輿を担ぐ姿を見せてくれました。

また、クリスマス会では、マジシャンの「ニイム」さんにお越し頂き、マジックショーを開催し様々なマジックを体験しました。

一年間ご協力頂きましてありがとうございました。



クリスマス会

御宿八幡宮例大祭のお礼

御宿八幡宮世話人

佐井隆司 (北五組)

令和四年九月に新田区が当番区として実施した八幡宮例大祭は、皆様のご協力により無事終了することが出来ました。しかし、今年度も新型コロナウイルスに感染予防の観点から例年通りの催しは出来なくなると、縮小しての実施となりました。その為、準備作業では、執行役員の皆様や子ノ神社世話人の皆様にご負担をお掛けすることになりましたが、ご理解とご協力に感謝申し上げます。

私が八幡宮世話人を担当して知ったことは、祭典が九月に実施する為、しめ縄に必要な藁の調達はその年では定期的に間に合わず、一年前に調達・保管しておく必要があることでした。幸い、区内の有識者の助言により事なきを得て、大しめ縄等の製作が予定通り出来ました。今、八幡宮の鳥居には立派な大しめ縄が飾られています。

製作・設置に携わって頂いた皆様に改めてお礼申し上げます。本場に有り難うございました。



御宿八幡宮

感謝してお疲れ様でした

三月退任の執行役員の皆様

氏名 令和四年度役員

- 瀧本 敏幸様 区長
- 二荒 保彦様 会計
- 土屋 浩三様 協議委員
- 山口 創様 協議委員
- 本田 章様 協議委員
- 小田 保之様 コミセン事務局長
- 的場 賢吾様 自主防災会長
- 辺見 裕様 体育委員長
- 杉本 義明様 相談役

編集後記

新田タイムスに寄稿していただきました皆様、ありがとうございます。今年にはコロナ禍も三年目となり、執行役員をはじめ多くの皆様が感染拡大を防ぎながら出来ることを探り、地域コミュニティの充実のためご苦労されました。簡略化の傾向にある行事を通して心と心が触れ合うコミュニケーション(交流)の大切さを改めて実感しました。御宿新田区民の皆様は益々のご健勝とご活躍をお祈りし、令和四年度の締め括りとさせていただきます。

新田タイムス担当協議委員

本田 章 (下組)